

平成26年度（第58回）岩手県教育研究発表会開催案内

1 趣 旨

岩手県の県政課題を解決するために、県内各学校及び教育関係機関、岩手県立総合教育センターにおける実践研究の成果を広く教育関係者に公開し、その理解と普及を図り、もって本県の教育の向上に資する。

2 主 催

岩手県教育委員会

3 実施機関

岩手県立総合教育センター

4 後 援

岩手県小学校長会

岩手県高等学校長協会

岩手県教育研究所連盟

岩手県中学校教育研究会

岩手県私学協会

岩手県私立幼稚園連合会

岩手県中学校長会

岩手県市町村教育委員会協議会

岩手県小学校教育研究会

岩手県高等学校教育研究会

岩手県国公立幼稚園協議会

岩手県社会福祉協議会・保育協議会

5 期 日

平成27年2月12日（木）・13日（金）

6 会 場

2月12日（木） 花巻温泉ホテル千秋閣，ホテル花巻

岩手県立総合教育センター

岩手県立生涯学習推進センター

2月13日（金） 花巻温泉ホテル千秋閣，ホテル花巻

岩手県立総合教育センター

岩手県立生涯学習推進センター

7 テーマ及び内容

(1) 全体テーマ 「授業改善の推進」

(2) 内 容

ア 全体会

講演会 演題「我が国の未来を切り拓く教育の実現（仮）」

講師 尚絅学院大学学長 合田隆史 氏（元文部科学省生涯学習政策局長）

授業改善実践発表

授業者・生徒 県立一関第一高等学校附属中学校：1年数学

イ 特設分科会（3分科会）

特設分科会1 「学力保障のための授業改善の推進（知）」

特設分科会2 「豊かな心を育てる道徳教育の推進（徳）」

特設分科会3 「健やかな体を育む教育の推進（体）」

ウ 分科会（20分科会）

1 国語，2 社会／地理歴史・公民，3 算数／数学，4 理科，5 図画工作／美術

6 音楽，7 体育／保健体育／健康教育，8 家庭／技術・家庭，9 外国語活動／外国語

10 教員の人材育成，11 特別活動，12 生活科／総合的な学習の時間／キャリア教育

13 情報教育，14 小規模・複式指導，15 幼児教育／幼小接続，16 教育相談

17 特別支援教育，18 防災教育，19 復興教育，20 ところのサポート

エ 企画展

1 学生科学賞入賞作品展

2 教材展（理科）

3 教材展（技術・家庭）

4 教材展（特別支援教育）

5 教材展（情報教育）

6 学校紹介写真展

◆テーマ【授業改善の推進】設定理由

「知・徳・体」を兼ね備え調和のとれた人間形成を目指し、確かな学力をはぐくむために、授業改善は校種を問わず、岩手の学校や教師が現在取り組むべき重要な課題です。

昨年度は「発表会を授業改善に関わる問題点や課題を述べ合い、それを共有する場にしたい」「各校・各自の実践を発表し合い、改善の方向性を協議する場にしたい」という願いを込めて、「授業改善を問う」というテーマで実施しました。その結果、岩手県の目指すわかる授業像を措定することの大切さや行政と学校が徹底して授業改善に取り組むことの重要性が確認されました。この「授業改善」というテーマを3年間継続して掲げ、確かな学力の育成と知・徳・体を兼ね備え調和のとれた人間形成を目指していきます。

この趣旨及び昨年度に確認された方向性を踏まえて、平成26年度のテーマを『授業改善の推進』とします。このテーマは、県教育委員会、市町村教育委員会、学校等すべての教育機関が一体となって授業改善の取組を確実に進めたいという願いから設定したものです。

講演会や特設分科会、分科会でも授業改善を柱に据え、発表・協議を行い、各学校でさらなる授業改善を進め、岩手県全体の取組を勢いづけていきたいと考えます。

◆【特設分科会 1 学力保障のための授業改善の推進（知）】要旨

本分科会は、「知・徳・体」の中の「知」に特化した分科会です。

今年度、県の学力向上対策として、各学校が「主体的に自校の課題に向き合い、一人ひとりの学力を保障する手立て」を考えるための取組を進めてきました。

実践報告では、諸調査の結果を基にした小中学校の先進実践校の取組と教科の枠を超えた校内研修を進める高等学校の取組を紹介してもらい、情報共有を進めながら、各学校での実践を確実に進める手がかりを探ります。講演では、秋田県の学力向上の中心人物の一人である秋田大学教授阿部昇氏を講師にお招きし、実践報告の講評もいただきながら、学力保障に向けた授業改善の取組について考え、全県で徹底して取り組むための機会とします。

◆【特設分科会 2 豊かな心を育てる道徳教育の推進（徳）】要旨

道徳教育は、学校の教育活動全体で取り組むという観点から組織的な推進体制を構築するとともに、道徳の時間を要として進めていくことが重要です。本分科会では、一関市立滝沢小学校の実践発表と道徳教育に関する国の動向の説明を通して、道徳教育の在り方や道徳の時間における授業改善の方策について理解を深めます。

講師には、秋田公立美術大学美術教育センター長の毛内嘉威氏をお迎えし、道徳における授業改善の視点についてご講演いただきます。

◆【特設分科会 3 健やかな体を育む教育の推進（体）】要旨

「生きる力」を支える確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた育成を重視し、各校が創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、学力の3つの要素を身に付けさせることが求められています。

本分科会では、健やかな体に焦点をあて、「授業改善を支える体育・健康に関する指導の在り方」をテーマに、児童生徒が活力ある学校生活を営むための資質や能力を育てる教育の在り方について考えていきます。講師に、鹿屋体育大学教授 佐藤 豊 氏をお迎えし、シンポジストの秋田県教育委員会、県内小・中・高等学校からの発表をもとに、知・徳・体の調和のとれた教育について考える機会とします。

平成26年度(第58回) 岩手県教育研究発表会 日程

		8:30	9:00	9:10	10:40	11:00	12:30	13:30	13:40	16:30				
2月12日(木)	受付 <small>(花巻温泉)</small>	開会行事		全体会				【特設分科会】		会場				
		【挨拶】 県教育委員会委員長 八重櫻勝	【講演会】 尚綱学院大学 学長 合田隆史	諸連絡	休憩	【授業改善実践発表】 県立一関第一高等学校 附属中学校(研究授業:数学)				昼食	移動	【特設分科会1】 学力保障のための授業改善の推進(知)	瑞雲	花巻温泉
										受付 <small>(花巻温泉)</small>	【特設分科会2】 豊かな心を育てる道徳教育の推進(徳)	胡四王		
												【特設分科会3】 健やかな体を育む教育の推進(体)	亀祥	
										昼食	【分科会】		教育センター	
										移動	15 幼児教育／幼小接続		大会議室	
								受付 <small>(教育センター)</small>	19 復興教育		セミナーホール	生涯学習推進センター		

		8:30	9:00	12:15	13:15	16:30			
2月13日(金)	受付 <small>(花巻温泉)</small>	【分科会】			昼食	【分科会】		花巻温泉	
		1 国語		瑞雲		移動	1 国語		瑞雲
		3 算数／数学		胡四王		受付 <small>(花巻温泉)</small>	3 算数／数学		胡四王
	受付 <small>(教育センター)</small>	4 理科		第1研修室		昼食 移動 受付 <small>(教育センター)</small>	4 理科		第1研修室
		8 家庭／技術・家庭		第6研修室			2 社会／地理歴史・公民		第4研修室
		9 外国語活動／外国語		第5研修室			5 図画工作／美術		美術研修室
		10 教員の人材育成		第4研修室			6 音楽		研修室A
		12 生活科／総合的な学習の時間／キャリア教育		第3研修室			11 特別活動		第5研修室
		17 特別支援教育		大会議室			13 情報教育		第6研修室
	受付 <small>(生涯学習推進センター)</small>	16 教育相談		1・2・3研修室		昼食 移動 受付 <small>(生涯学習推進センター)</small>	7 体育／保健体育／健康教育		1・2・3研修室
		18 防災教育		セミナーホール			20 こころのサポート		セミナーホール
									生涯学習推進センター

平成26年度(第58回)岩手県教育研究発表会 発表主題及び発表者

	内 容	役 割	所 属	職	氏 名
--	-----	-----	-----	---	-----

全体会講演会 2月12日(木)午前

担当 企画担当 研修指導主事 三田 正巳

2/12 午前	1	講演 「我が国の未来を切り拓く教育の実現(仮)」	尚綱学院大学	学 長	合 田 隆 史
------------	---	-----------------------------	--------	-----	---------

授業改善実践発表 2月12日(木)午前

担当 特命チーム 主任指導主事 高橋 広明

2/12 午前	1	授業改善提案授業	授業者	県立一関第一高等学校 附属中学校	教 諭	佐 藤 宏 行
				県立一関第一高等学校 附属中学校	生 徒	1 年 1 組

特設分科会1「学力保障のための授業改善の推進(知)」 2月12日(木)午後

担当 特命チーム 主任指導主事 須川 和紀

2/12 午後	1	報告 「平成26年度県の学力向上対策の成果と平成27年度の取組」		学校教育室	主任指導主事	須 川 和 紀
	2	実践報告1 「諸調査の結果を基にした先進実践校における授業改善の推進」		紫波町立赤石小学校	教 諭	石 川 和 広
				二戸市立 金田一中学校	教 諭	佐 賀 之 厚
	3	実践報告2 「教科の枠を超えた校内研修の推進」		県立種市高等学校	教 諭	伊 東 理 俊
				県立 盛岡第三高等学校	副校長	下 町 壽 男
	4	講演・講評 「秋田県の学力向上の秘密」	講演講師	秋田大学	教 授	阿 部 昇

特設分科会2「豊かな心を育てる道徳教育の推進(徳)」 2月12日(木)午後

担当 企画担当 研修指導主事 梅野 展和

2/12 午後	1	趣旨説明・報告		学校教育室	主任指導主事	田 代 航
	2	実践発表 「自己を見つめ,よりよく生きようとする児童の育成 ～補充・深化・統合を意図した道徳の時間の工夫を通して」		一関市立滝沢小学校	教 諭	金 里 徹
				一関市立滝沢小学校	教 諭	熊 谷 佳 子
3	講演 「これからの道徳教育と道徳の時間の展開」	講演講師	秋田公立美術大学	教 授	毛 内 嘉 威	

特設分科会3「健やかな体を育む教育の推進(体)」 2月12日(木)午後

担当 企画担当 研修指導主事 多田 拓章

2/12 午後	1	趣旨説明		学校教育室	主任指導主事兼 主任保健体育主事	村 田 浩 隆
	2	シンポジウム 「授業改善を支える体育・健康に関する指導 の在り方」	コーディネーター	鹿屋体育大学	教 授	佐 藤 豊
			シンポジスト	秋田県教育庁 保健体育課	指導主事	安 田 知 明
			シンポジスト	県立不来方高等学校	校 長	平 藤 淳
			シンポジスト	盛岡市立 黒石野中学校	教 諭	藤 尾 佳 子
			シンポジスト	一戸町立 一戸南小学校	校 長	斎 藤 康 子
3	講演 「児童生徒が活力ある学校生活を営むための 資質や能力を育てる教育の在り方」	講演講師	鹿屋体育大学	教 授	佐 藤 豊	

分科会	発表主題 - 副題 -	推薦機関等	所属	職	氏名
-----	-------------	-------	----	---	----

1 国語 2月13日(金)午前/午後

担当 教科領域教育担当 主任研修指導主事 長根 義広

2/13 午前	1	読みを深める子どもの育成 ～単元を貫く言語活動の充実を通して～	矢巾町教育委員会	矢巾町立不動小学校	教諭	石田 弘子
	2	小学校国語科における「読む力」をはぐくむ学習指導のあり方 ～単元を貫く言語活動の充実を図ることを通して～	西和賀町教育委員会	西和賀町立湯田小学校	教諭	高橋 祐美子
	3	考えをつなぎ 学びをつなぎ 心をつなぐ子どもの育成 ～国語科、算数科の指導の過程で言語活動を重視して～	二戸市教育委員会	二戸市立 金田一小学校	教諭	澤口 聡子
	4	確かに読み取る力を育てる指導の在り方 ～系統立てた読みの視点を生かして～	久慈市教育委員会	久慈市立平山小学校	教諭	堀 箆 謙 友
	5	読解力を高める指導の在り方 ～単元を貫く言語活動を位置付けた授業づくりを通して～	花巻市教育委員会	花巻市立湯口中学校	教諭	阿部 伸 泰
2/13 午後	6	学習指導要領を具体化する小・中・高等学校国語科の指導法に関する研究 ～学びの連続性を考慮し、単元を貫く言語活動を位置付けた授業づくり～		総合教育センター	主任 研修指導主事	長根 義 広
	7	授業実践発表(ポスターセッション) 学習指導要領を具体化する小・中・高等学校国語科の指導法に関する研究 ～学びの連続性を考慮し、単元を貫く言語活動を位置付けた授業づくり～	研究協力員	盛岡市立松園小学校	教諭	八幡 美奈子
			研究協力員	花巻市立 八重畑小学校	教諭	米内 紀子
			研究協力員	岩手大学教育学部 附属中学校	教諭	西澤 孝司
			研究協力員	陸前高田市立 横田中学校	教諭	吉田 亜矢子
			研究協力員	県立 紫波総合高等学校	教諭	熊谷 裕子
8	講演 小・中・高等学校が連携し、学習指導要領を具体化する授業をどのようにつくるか	講演講師	文部科学省初等中等 教育局教育課程課	教育課程 教科調査官	水戸部 修 治	

2 社会/地理歴史・公民 2月13日(金)午後

担当 教科領域教育担当 主任研修指導主事 鈴木 徹

2/13 午後	1	確かな社会科学力を育む授業づくり ～歴史の指導を通して～	紫波町教育委員会	紫波町立水分小学校	教諭	佐藤 淳
	2	確かな社会科学力を育む授業の在り方 ～言語活動に留意した問題解決的な学習展開を通じて～	盛岡教育事務所	盛岡市立上田中学校 盛岡市立厨川中学校 盛岡市立玉山中学校	教諭 教諭 教諭	佐々木 巳 樹 菊池 満 藤原 由美子
	3	日本史副教材「日本史教師が伝えたい岩手の歴史」を活用した授業実践例 ～郷土の先人を知り、思考する力を伸ばす教材として～	県高等学校 教育研究会 (地歴・公民)	県立 水沢農業高等学校	教諭	菅野 明子
	4	社会科の中で進める復興教育について	陸前高田市 教育研究所	陸前高田市立 米崎小学校	教諭	前田 健 治
	5	思考力・表現力を高める授業を目指して ～新聞教育における言語活動を図りながら～	一関市教育委員会	一関市立千厩小学校	教諭	及川 泉
	6	高校世界史における歴史的思考力の育成を目指す指導方法の研究 ～アクティブラーニングの手法や発問の工夫を通じて～	県高等学校 教育研究会 (地歴・公民)	県立 盛岡第三高等学校	教諭	斎藤 信太郎

分科会	発表主題 - 副題 -	推薦機関等	所属	職	氏名
-----	-------------	-------	----	---	----

3 算数／数学 2月13日(金)午前／午後

担当 教科領域教育担当 研修指導主事 鈴木 裕

2/13 午前	1	数学Ⅰ「図形と計量」の授業 ～数学授業のもう一つのユニバーサルデザイン～	県高等学校 教育研究会 (数学)	県立 一関工業高等学校	指導教諭	宮 本 次 郎
	2	授業改善実践発表の成果と課題		県立一関第一高等学校 附属中学校	教 諭	佐 藤 宏 行
	3	確かな学力の育成 ～「できた喜び」「わかる喜び」を感じる授業の構 築～	矢巾町教育研究所	矢巾町立矢巾中学校	教 諭	佐々木 雅
	4	数学科の身に付けさせたい力を育てる指導法について ～「わかる授業」の具体化を通して～		総合教育センター	研修指導主事	千 葉 重 徳
	5	楽しく意欲的に学び、確かな学力が身につく学 習づくり ～ねらいを明確にした授業展開の工夫～	紫波町教育委員会	紫波町立 上平沢小学校	教 諭	青 木 千 登 勢
2/13 午後	6	思考力・表現力を高める算数指導のあり方 ～児童の思いや考えを表出させる活動を通して～	北上市教育委員会	北上市立 和賀東小学校	教 諭	黒 淵 公 子
	7	確かな学力を身につけた子どもの育成 ～算数科の指導過程における言語活動の工夫 を通して～	遠野市教育研究所	遠野市立青笹小学校	教 諭	菊 池 真 紀 子
	8	講演 「学力向上に向けた授業改善の視点」	講演講師	文教大学	准教授	永 田 潤 一 郎

4 理科 2月13日(金)午前／午後

担当 理科教育担当 研修指導主事 木内 隆友

2/13 午前	1	自ら考えを持ち、響き合う子どもの育成 ～理科における「学びのプロセス」を大切に した授業の工夫～	奥州市教育委員会	奥州市立 岩谷堂小学校	教 諭	佐 藤 真 樹 子
	2	理科における知識や技能を活用し、思考力・判 断力・表現力等をはぐくむ学習指導法の実践研 究 ～事象とのかかわりの工夫を通して～	盛岡市教育研究所	盛岡市立河南中学校 盛岡市立大新小学校 盛岡市立北陵中学校	教 諭 教 諭 教 諭	灘 山 正 和 南 舘 淳 基 石 黒 崇 敬
	3	確かな学力をはぐくむ指導の工夫 ～協同的な学習を取り入れた、教えて考えさ せる指導を通して～	北上市教育研究所	北上市立南中学校	教 諭	近 藤 久 美 子
	4	中学校理科の観察・実験資料集の作成		総合教育センター	研修指導主事	藤 枝 昌 利
2/13 午後	5	高校化学における個別実験の取り組み ～マイクロスケール実験の授業実践を通して～	県高等学校 教育研究会 (理科)	県立久慈東高等学校	教 諭	佐 藤 美 希
	6	高等学校理科における学習指導要領に対応し たサポート資料の作成 ～高等学校理科「地学基礎」に対応したサポ ート資料の作成～	長期研修生	県立 盛岡第三高等学校	教 諭	小松原 清 敬
	7	高等学校理科における学習指導要領に対応し たサポート資料の作成 ～高等学校理科「科学と人間生活」に対応し たサポート資料の作成～	長期研修生	県立平舘高等学校	教 諭	石 塚 史 子

分科会	発表主題 - 副題 -	推薦機関等	所属	職	氏名
-----	-------------	-------	----	---	----

5 図画工作／美術 2月13日(金)午後

担当 教科領域教育担当 研修指導主事 吉田 武雄

2/13 午後	1	心をつなぎ、豊かな感性をひらく造形教育 ～みて、ふれて、かんじて、あらかず表現活動～	岩手県私立 幼稚園連合会	学校法人ひまわり学園 都南幼稚園	教 頭	三 浦 恵美子
	2	みつめ あらわし つながる 豊かな造形活動 ～共同による立体表現を通して～	盛岡市教育委員会	盛岡市立仙北小学校	教 諭	赤 澤 恵 美
	3	「つなげよう、伝えよう」いきいきと表現する子ども の育成 ～図画工作科における言語活動を通して～	一関市教育委員会	一関市立奥玉小学校	教 諭	芦 美 子 三 浦 早貴子
	4	生徒自らが主題を生みだし、自己肯定感を高める 題材のあり方 ～My box art ～心・夢・未来～	盛岡市教育委員会	盛岡市立北陵中学校	教 諭	上 野 行 知

6 音楽 2月13日(金)午後

担当 教育支援相談担当 研修指導主事 佐々木 一義

2/13 午後	1	音楽の楽しさを実感し、ともに学び合う授業の創造	釜石市教育委員会	釜石市立甲子小学校	教 諭	栃 内 睦 子
	2	音楽的な感受の充実を図った鑑賞の授業目指して ～生徒の思考力を深める課題提示と発問の工夫～	山田町教育委員会	山田町立山田中学校	教 諭	千 葉 尚 子
	3	創作 ～ コード進行に沿った旋律の創作～	県高等学校 教育研究会 (音楽)	県立盛岡南高等学校	教 諭	三 上 華 子

7 体育／保健体育／健康教育 2月13日(金)午後

担当 教育支援相談担当 研修指導主事 高橋 雅恵

2/13 午後	体育/ 保健 体育	1	小学校体育科におけるすべての児童に運動の 楽しさや喜びを味あわせる指導の在り方 ～児童の「わかる」「できる」「かかわり合う」学習 活動を通して～	奥州市教育研究所	奥州市立梁川小学校	教 諭	佐々木 拓 磨
		2	一人一人のよさや可能性を伸ばす保健体育授 業の在り方 ～球技(ベースボール型)の授業実践～	宮古市教育委員会	宮古市立新里中学校	教諭	柏 葉 英 樹
		3	運動が嫌いな生徒が体育授業をとおして運動を 好きになるためには ～バレーボールにおけるスパイク技術の習得を とおして～	県高等学校 教育研究会 (保健体育)	県立葛巻高等学校	教 諭	菊 地 敬 太
2/13 午後	健康 教育	1	学童期における肥満の改善と予防 ～被災地での学校と家庭の連携に着目した生 活リズム改善へのアプローチ～	宮古市教育委員会	宮古市立 田老第一小学校	養護教諭	菊 地 久 子
		2	高校生の生と性に関する調査から	県高等学校 教育研究会 (学校保健)	専修大学 北上高等学校	養護教諭	日 下 公 江

8 家庭／技術・家庭 2月13日(金)午前

担当 情報・産業教育担当 研修指導主事 川地 里美

2/13 午前	1	技術・家庭科家庭分野における生活技能を高め る学習指導に関する研究 ～自主学习題材での学習指導計画とコンテンツ の作成を通して～	長期研修生	盛岡市立北陵中学校	教 諭	太 田 直 利
	2	生活力を高める指導の工夫 ～応用自在な教材へのアプローチ～	県高等学校 教育研究会 (家庭)	県立 一関第一高等学校	教 諭	水 上 弓 枝
	3	豊かな思考力・判断力・表現力を磨く授業の工 夫 ～製作品の丈夫な構造を考える授業実践を通し て～	山田町教育委員会	山田町立山田中学校	教 諭	木 村 亮

分科会	発表主題 - 副題 -	推薦機関等	所属	職	氏名
-----	-------------	-------	----	---	----

9 外国語活動／外国語 2月13日(金)午前

担当 教科領域教育担当 研修指導主事 松本 諭

2/13 午前	1	紫波町における外国語活動・英語教育の取組について ～英語教育強化地域拠点事業、紫波町英語塾の取組から～	紫波町教育委員会	紫波町立日詰小学校 紫波町立赤石小学校 紫波町立古館小学校 紫波町教育委員会 紫波町教育委員会	教諭 教諭 教諭 指導主事 主事	日向速人 佐藤由紀子 伊東雅彦 村松雅彦 ハワード・ドナルド
	2	英語による発進力育成のための語彙指導のあり方	金ヶ崎町教育委員会	金ヶ崎町立 金ヶ崎中学校	教諭	関向真介
	3	米国の語学授業を取り入れた日本の英語授業の実践 ～第2言語としての英語教育の視点を取り入れて～	県高等学校 教育研究会 (英語)	県立 一関第一高等学校	教諭	網島浩一
	4	「つながり」が感動を生み、「感動」が英語教育を豊かにする－OCEAN'S 8の挑戦－ ～中高連携中核教員実践発表～	久慈市教育委員会	久慈市立侍浜中学校	教諭	山田将之
	5	授業改善へ向けて		学校教育室	主任指導主事	須川和紀

10 教員の人材育成 2月13日(金)午前

担当 教科領域教育担当 研修指導主事 泉田 学

2/13 午前	1	教員個々の力量を高める校内研修(OJT)の在り方		総合教育センター	研修指導主事	吉田武雄
	2	「自己研修の進め方」事例の収集及び手引の作成		総合教育センター	研修指導主事	石川修司

11 特別活動 2月13日(金)午後

担当 情報・産業教育担当 研修指導主事 熊谷 明宏

2/13 午後	1	自己の学びを創る子どもを育てる ～学びを実感する学習を通して～	盛岡市教育委員会	盛岡市立 緑が丘小学校	教諭	鹿糠康
	2	自分を大切に、他の人を大切にする笑顔いっぱいの子どもの育成 ～好ましい言語環境づくりの取り組みを中心に～	北上市教育委員会	北上市立 和賀西小学校	教諭	照井千秋
	3	互いを高め合う学級づくりの指導のあり方 ～話し合い活動を基盤として～	花巻市教育研究所	花巻市立矢沢中学校	教諭	菊池則安

12 生活科／総合的な学習の時間／キャリア教育 2月13日(金)午前

担当 理科教育担当 研修指導主事 鈴木 勇二

2/13 午後	1	自ら学びを創造する子どもの育成 ～子どもの思いや願いを大切に探求的な学習を通して～	盛岡市教育委員会	盛岡市立杜陵小学校	教諭	君塚裕子
	2	進路希望分野別学習による課題解決力向上を目指して ～グループ学習と外部と連携した出前講座を通じて～	岩手県 高等学校長協会	県立盛岡南高等学校	教諭	鈴木紗季
	3	課題解決に主体的に取り組む生徒の育成を目指す実践 ～震災からの復興をテーマにした総合的な学習の時間の取組みから～	岩手県 高等学校長協会	県立 盛岡第三高等学校	教諭	高屋恵理

分科会	発表主題 - 副題 -	推薦機関等	所属	職	氏名
-----	-------------	-------	----	---	----

13 情報教育 2月13日(金)午後

担当 情報・産業教育担当 研修指導主事 佐々木 淳

2/13 午後	1	共通教科「情報」における情報モラル・情報セキュリティの授業について	県高等学校 教育研究会 (メディア教育)	県立盛岡南高等学校	教諭	竹山 仁
	2	高等学校における道徳的実践意欲を高める情報モラル指導の在り方に関する研究		総合教育センター	研修指導主事	大懸 慈人
	3	興味関心を引き出すICT活用の在り方～情報機器の活用の充実を目指して……つながる・ひろがる千厩分教室中学部～	県高等学校 教育研究会 (特別支援教育)	県立 一関清明支援学校 千厩分教室	教諭	山根基 義
	4	授業及び学校活動における電子黒板等ICT機器利用・デジタル教材活用のための実践集作成		総合教育センター	研修指導主事	八重樫 一矢
		ICT機器利用の実践発表 ～ゲーム分析を活用したハンドボール指導に関する教材開発～		総合教育センター	研修指導主事	三田 正巳

14 小規模・複式指導 2月13日(金)午後

担当 教科領域教育担当 主任研修指導主事 吉田 久美子

2/13 午後	1	意欲的に学ぶ子どもを育てるための指導～横断的な学習における活用力を意識した実践を通して～	盛岡市教育委員会	盛岡市立城内小学校	教諭	山本 公恵
	2	複式学級設置に係る校内体制の整備及び複式指導の実践について	遠野市教育研究所	遠野市立 附馬牛小学校	教諭 教諭	菊池 和恵 大阪 彩子
	3	自分の考えを持ち進んで表現する子どもの育成～算数科における伝え合う活動を通して～	花巻市教育研究所	花巻市立 内川目小学校	教諭	山本 久美子
	4	自分の考えを豊かに表現する子どもの育成～小規模校の特色を生かした言語活動の工夫を通して～	岩泉町教育委員会	岩泉町立 安家小中学校	教諭	牧原 昌之
	5	複式指導に関する指導資料の収集・整理・分類		総合教育センター	主任 研修指導主事	吉田 久美子
	6	主体的に学習する子どもを育てる複式学級の授業改善に関する研究～間接指導を充実させる映像資料集作成を目指して～	長期研修生	岩泉町立門小学校	教諭	伊東 晃

15 幼児教育・幼小接続 2月12日(木)午後

担当 教科領域教育担当 研修指導主事 吉田 澄江

2/12 午後	1	子どもの育ちにつながる指導の在り方について	盛岡市教育研究所	盛岡市立米内幼稚園	主任教諭	内田 芳子
	2	豊かな言葉をはぐくむ保育の在り方を考える～思いや考えを伝え合うことを通して～	岩手県国公立 幼稚園協議会	金ケ崎町立 六原幼稚園	教諭 主任	遠藤 由紀子 小野 タマ子
	3	子どもたちのやさしさや思いやりの育ち～子どもたちのやさしさや思いやりを育てるための保育者の援助や環境を考える～	岩手県私立 幼稚園連合会	認定こども園 花泉幼稚園	教諭	後藤 早紀
	4	保護者とのよりよい関係づくりを考える～健やかで伸びやかな育ちを共に願って～	岩手県社会福祉 協議会 保育協議会	盛岡市立 きたくり保育園	保育主査 副主任保育士	吉田 睦子 和田 周子

分科会	発表主題 - 副題 -	推薦機関等	所属	職	氏名
-----	-------------	-------	----	---	----

16 教育相談 2月13日(金)午前

担当 教育支援相談担当 研修指導主事 島香 実

2/13 午前	1	学校不適応に対する援助事例の報告 及びポスターセッション	長期研修生	北上市立 黒沢尻北小学校	教諭	菅崎 定巳
				西和賀町立 沢内中学校	教諭	村木 忍
				釜石市立唐丹中学校	養護教諭	蔵野 睦
				県立 一関第二高等学校	教諭	外川 直美
				県立 宮古水産高等学校	教諭	熊谷 礼子
				県立 気仙光陵支援学校	教諭	及川 千鶴子

17 特別支援教育 2月13日(金)午前

担当 教育支援相談担当 研修指導主事 近藤 健一

2/13 午前	1	特別支援教育におけるキャリア教育の視点を大切にした授業実践の在り方を求めて	岩手県 高等学校長協会	県立 盛岡視覚支援学校	教諭	木村 智子
	2	特別支援学校(知的障がい)における進路指導の充実に関する研究 ～進路・就労支援ハンドブックの活用を通して～	長期研修生	県立 盛岡みたけ支援学校	教諭	青柳 禎久
	3	生徒の共通理解と学びを支える取り組み ～共に学び, 共に育つ教育の充実をめざして～	岩手県 高等学校長協会	県立 遠野緑峰高等学校	教諭	鈴木 博
	4	通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒への支援の充実に関する研究 ～校内資源を活用した校内支援体制の確立を目指して～		総合教育センター	研修指導主事	近藤 健一

18 防災教育 2月13日(金)午前

担当 学校教育室 指導主事 森本 晋也

2/13 午前	1	「ふるさとそけい」の復興を支える防災教育の実践	宮古市教育研究所	宮古市立磯鶏小学校	教諭	大内 元
	2	岩手山と共に生きる子ども達の防災意識を高めるために		滝沢市立柳沢小学校 滝沢市立柳沢中学校	教諭 副校長	角張 千恵子 村田 和代
	3	地域防災の担い手の育成を目指して		県立雫石高等学校	教諭	鋤柄 貴
	4	本校の防災・復興教育の取り組み ～学校防災アドバイザー派遣事業活用等も含めた改善～		県立 気仙光陵支援学校	校長	杉本 則子
	5	緊急地震速報システムを活用した防災教育の具体化		西和賀町教育委員会	主任指導主事	齋藤 佳孝
	6	講演 『生きる力』を育む防災教育のあり方 ～学校・家庭・地域の連携を通して～		静岡大学教育学部	准教授	藤井 基貴

分科会	発表主題 - 副題 -	推薦機関等	所属	職	氏名
-----	-------------	-------	----	---	----

19 復興教育 2月12日(木)午後

担当 学校教育室 主任指導主事 鈴木 智香

2/12 午後	1	ふるさとの復興を担う『ひとづくり』の展開 ～「自分から」かかわり、学びを深める児童の育成～		宮古市立宮古小学校	主幹教諭	山内 弘文
	2	副読本の活用のあり方について		北上市立 黒沢尻西小学校	教諭	齋藤 光喜
	3	地域の担い手としての自覚を持ち、主体的に考 え、行動する生徒の育成 ～地域素材を活かした授業づくりと外部の人財 の効果的な活用を通して～	野田村教育委員会	野田村立野田中学校	主幹教諭	五十嵐 智
	4	つづける つなげる つたえる ～ボランティア活動を通じて自ら考え復興に携 わろうとする気持ちを涵養する～	岩手県 高等学校長協会	県立盛岡南高等学校	教諭	山下 佳子
	5	まもる・つながる ～体験的な学びをとおして、今、自分たちにできることは何かを考 え、行動する力を養うために～		県立 盛岡聴覚支援学校	教諭	安部 千喜子
	6	講演 「いわての復興教育の充実を目指して」		国立教育政策研究所	総括研究官	山森 光陽

20 こころのサポート 2月13日(金)午後

担当 教育支援相談担当 研修指導主事 大谷 哲弘

2/13 午後	1	実践発表1		山田町立 山田北小学校	教諭	佐藤 久美子
	2	実践発表2		宮古教育事務所	巡回型スクール カウンセラー	宮下 啓子
	3	実践発表3		釜石市立 釜石東中学校	教諭	中川 和哉
	6	実践発表4		沿岸南部教育事務所	巡回型スクール カウンセラー	中澤 美枝

参加申込み手続きについて

【お詫び】

現在、「岩手教育情報交流ネット」は停止しております。ご不便をおかけしております。参加申込手続きは、以下の方法でお願いいたします。

1 参加申込み

- (1) 参加申込み受付期間
平成 26 年 12 月 5 日（金）～1 月 9 日（金）
- (2) 参会希望者は、別添「様式 1 申込み書」により、郵送・FAX・メールのいずれかの方法で手続きしてください。
 - ア 郵送の宛先 〒025-0395（住所記入不要）
岩手県立総合教育センター（企画担当 三田正巳宛て）
 - イ FAX 番号 0198-27-3562（企画担当 三田正巳宛て）
 - ウ メール kikaku@center.iwate-ed.jp
（企画担当 三田正巳宛て）

2 弁当について

- ア ホテル内の食堂は少なく、混雑が予想されますので、昼食は各自で準備するよう
にお願いします。昼食は発表会会場で摂ることができます。
- イ やむを得ず弁当を希望する方には、花巻温泉と明窓館の弁当を斡旋します。別添
4「弁当の斡旋について」により、「様式 1 申込み書」に記入して手続きしてく
ださい。

3 参加申込み手続きに関する留意事項

- (1) 全体会、特設分科会、分科会の会場について
 - ア 会場は、花巻温泉会場と、センター会場に分かれます。
 - イ 参加申込をする前に、別添 1「会場と受付について」により、参加したい分科会
の会場を事前に確認してください。
- (2) 駐車場について
 - ア 車で来場される場合は、別添 2「駐車場の指定について」により、指定の駐車場
をご利用ください。
 - イ 別添様式 2「駐車表示」に必要事項を記入し、車のフロントガラス助手席（内側）
に貼り、駐車場の誘導者から見やすい場所に掲示してください。
 - ウ 会場周辺道路は、混雑が予想されます。車を利用される方は早めに来場してくだ
さい。
- (3) シャトルバスの利用について
 - ア 当日はシャトルバスを運行します。シャトルバスは、花巻空港駅と花巻温泉間、
花巻空港駅と教育センター間、花巻温泉と教育センター間で運行します。
 - イ シャトルバスを利用する場合は、別添 3「シャトルバスの運行について」をご覧
ください。
 - ウ 利用する場合は、参加申込入力時に乗車時刻を回答してください。

4 その他

- (1) 岩手県教育研究発表会についてのお問い合わせ
○発表会全般に関すること
企画担当（0198-27-2833） 三田、谷木

(2) 岩手県交通路線バス時刻表（平成 26 年 10 月現在）

□花巻温泉・教育センターゆき

花巻駅前 発	花巻温泉 着
7:10	7:29
8:06	8:25
8:50	9:09
9:40	9:59
10:30	10:52
12:00	12:22
13:00	13:20
運賃¥460	

花巻空 港駅発	花巻温泉 着	教育セ ンター 着
7:53	8:02	8:07
12:37	12:46	12:51

運賃¥420

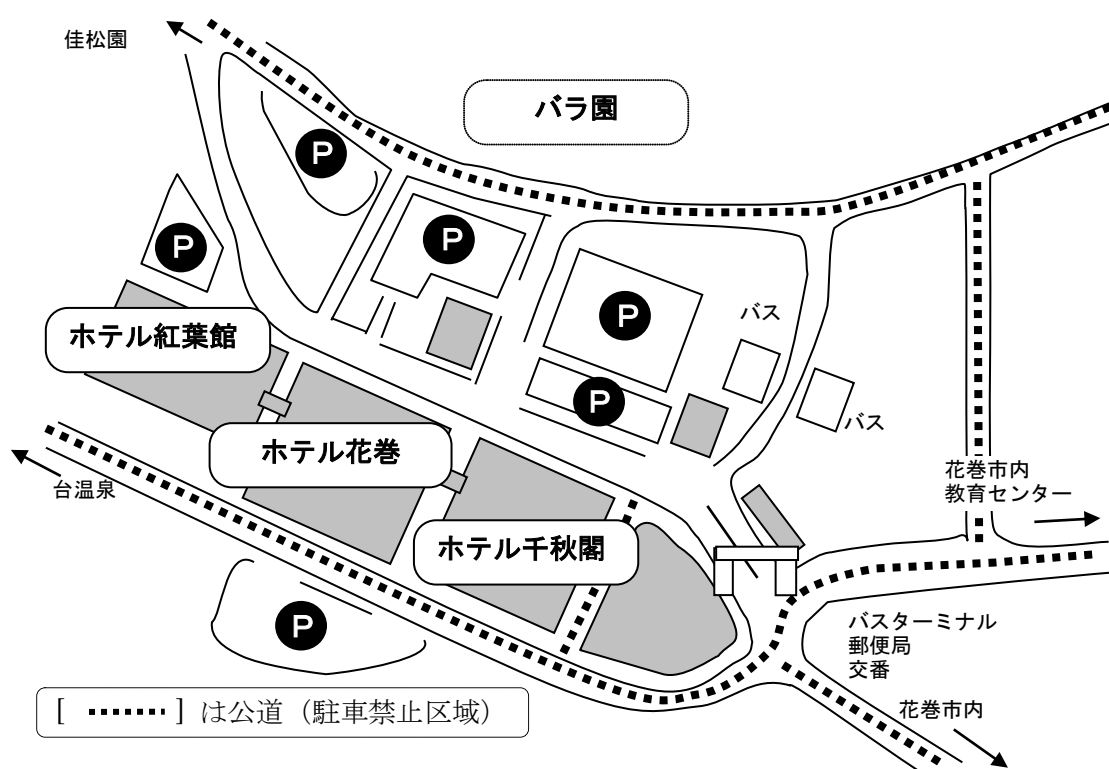
□花巻駅前・花巻空港駅ゆき

花巻温泉 発	花巻駅前 着
12:45	13:07
13:45	14:05
14:45	15:07
15:10	15:30
15:40	15:59
16:45	17:04
17:45	18:07
運賃¥460	

教育セ ンター 発	花巻温泉 着	花巻 空港駅着
8:15	8:20	8:29
13:00	13:05	13:14
17:33	17:38	17:47

運賃¥460

(3) 花巻温泉会場駐車場



災害等が発生した場合の緊急連絡について

災害等（地震・津波・台風等の天災，大規模停電等）が発生した場合，発表会の実施に関する連絡を，これまでの通信手段に加え，緊急連絡用サイトからも行います。緊急連絡用サイトは，下記 QR コードまたは URL からアクセスしてください。

また，会場への移動途中に災害等が発生した場合，参加者は，各自の身の安全の確保を第一に行い，発表会の出席については，所属長の判断を優先してください。ただし，所属長と連絡が取れないことも想定されることから，緊急時の行動については予め所属長と確認する等の準備をお願いします。災害等により，発表会を取り止める場合，発表会の延期，中止の別は，後日通知します。

【緊急連絡用サイトの利用の仕方】

携帯電話で次の QR コードを読み取り，そのままアクセスしてください。
インターネットを利用する場合は，下記 URL にアクセスしてください。

URL <http://link.netcommons.net/iwaedcenter/htdocs>



【別添1】 会場と受付について

1 会場

本年度の会場は、「花巻温泉」と「総合教育センター」「生涯学習推進センター」です。12日（木）は「花巻温泉」、「教育センター」で開催します。13日（金）の会場は、「花巻温泉」と「教育センター」「生涯学習推進センター」に分かれます。

開催日	全体会・特設分科会・分科会	会場
2月12日 (木)	【開会行事】 【全体会】 ・講演会 ・授業改善実践発表 【特設分科会】 ・特設分科会1 [知] ・特設分科会2 [徳] ・特設分科会3 [体]	花巻温泉(ホテル千秋閣) 1Fロビー
	【分科会】 15 幼児教育／幼小接続	総合教育センター 1Fロビー
	19 復興教育	生涯学習推進センター 1Fロビー
2月13日 (金)	【分科会】 1 国語 3 算数／数学	花巻温泉(ホテル千秋閣) 1Fロビー
	【分科会】 2 社会/地理歴史・公民 10 教員の人材育成 4 理科 11 特別活動 5 図画工作／美術 12 総合的な学習の時間 6 音楽 13 情報教育 8 家庭/技術・家庭 14 小規模・複式指導 9 外国語活動／外国語 17 特別支援教育	総合教育センター 1Fロビー
	7 体育/保健体育/健康教育 16 教育相談 18 防災教育 20 こころのサポート	生涯学習推進センター 1Fロビー

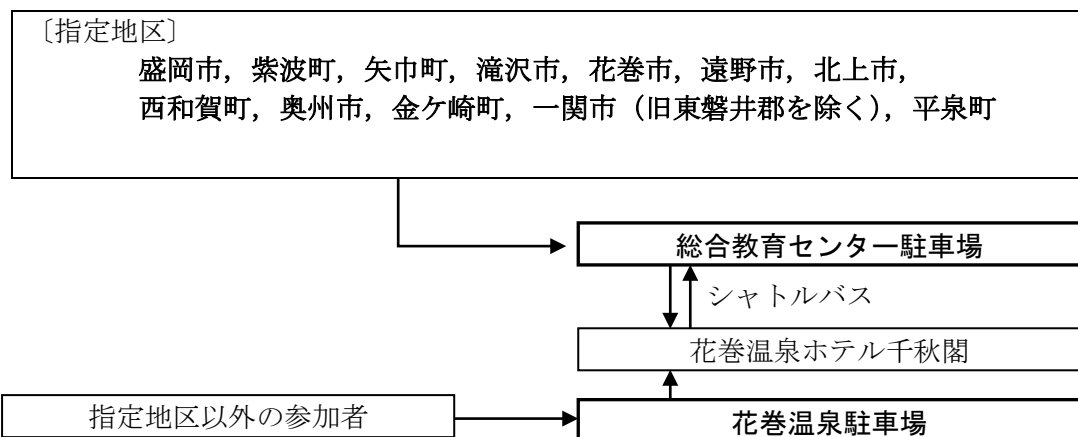
2 受付

開催日	受付
2月12日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・開会行事，基調報告，全体会は花巻温泉ホテル千秋閣ロビーで行います。 ・特設分科会，分科会は各会場で行います。 ・全体会資料は受付で配布します。 ・受付後の移動については，係がご案内いたします。
2月13日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・各分科会会場で行います。 ・会場案内は，千秋閣ロビー，総合教育センター玄関等に掲示しています。 ・受付後の移動については，係がご案内いたします。

【別添2】 駐車場の指定について

1 一般参加者の駐車場

- (1) 駐車場の混雑を分散するために、**12日(木)のみ**、下記のとおり参加者の勤務地ごとに駐車場を指定します。教育センターと花巻温泉間の移動は、シャトルバスを利用してください。



- (2) 指定地区以外の参加者は様式2「駐車表示」により、「駐車表示」を作成し、車のフロントガラス助手席（内側）に貼り、駐車場の誘導者から見やすい場所に掲示してください。掲示のない場合は、花巻温泉駐車場への駐車をお断りします。
- (3) 様式2「駐車表示」のダウンロード方法については、該当の学校に別途メールでご案内します。
- (4) 13日(金)は、駐車場の指定はしません。最寄りの会場駐車場をご利用下さい。ただし、花巻温泉駐車場が満車の場合、センター駐車場へ移動していただく場合があります。あらかじめ、ご了承下さい。

2 来賓・招待者並びに関係者の駐車場

- (1) 駐車場は指定しません。最寄りの会場駐車場を利用してください。
- (2) 別添様式1により、「駐車表示」を作成し、車のフロントガラス助手席（内側）に貼り、駐車場の誘導者から見やすいよう掲示してください。
- (3) 教育委員会関係者（指導主事，社会教育主事等）は、「関係者」扱いになります。
- (4) 駐車場内での駐車区分を設定できません。お早めにご来場ください。

3 その他

- (1) 当日、会場周辺道路は混雑します。車を利用される方は早めに来場願います。
- (2) 同一校から複数名参加され、車で来場される場合は、便乗で来場してください。（会場周辺道路の混雑の緩和，駐車スペースの確保にご協力をお願いします。）
- (3) 参加者の申込み状況により駐車場の指定方法を変更（解除）する場合は、平成27年2月2日（月）までに、岩手県立総合教育センターWebページ内でお知らせします。

【別添3】 シャトルバスの運行について

1 運行区間

- 【2月12日（木）】
- ・花巻空港駅 ↔ 花巻温泉
 - ・教育センター ↔ 花巻温泉
- 【2月13日（金）】
- ・花巻空港駅 ↔ 花巻温泉
 - ・花巻空港駅 ↔ 教育センター
 - ・教育センター ↔ 花巻温泉

2 運行時刻（時間帯）

開催日	区間	運行時間	発着場
2月12日 （木）	花巻空港駅 → 花巻温泉（往路） *定刻発	*7:45 *8:25	花巻空港駅前発、ホテル 千秋閣前着
	教育センター → 花巻温泉	7:20～ 8:50	生涯学習推進センター 発、ホテル千秋閣前着
	教育センター ↔ 花巻温泉 （運行時間内折返し）	12:30～ 13:30	生涯学習推進センター発 着、ホテル千秋閣前発着
	花巻温泉 ↔ 教育センター （運行時間内折返し）	16:30～ 17:25	ホテル千秋閣前発、生涯 学習推進センター着
	花巻温泉 → 花巻空港駅（帰路）	16:40～ 17:40	ホテル千秋閣前発、花巻 空港駅前着
2月13日 （金）	花巻空港駅→花巻温泉（往路） 花巻空港駅→教育センター（往路） *定刻発	*7:20 *8:00	花巻空港駅前発、ホテル 千秋閣前着、生涯学習推 進センター前着
	教育センター ↔ 花巻温泉 （運行時間内折返し）	12:15～ 13:15	生涯学習推進センター発 着、ホテル千秋閣前発着
	花巻温泉 → 花巻空港駅（帰路） 教育センター → 花巻空港駅（帰 路）	16:30～ 17:40	生涯学習推進センター 発、ホテル千秋閣前発、 花巻空港駅着

※生涯学習推進センターと総合教育センターは同じ敷地内にあります。発表会当日は、生涯学習推進センター前がシャトルバスの発着場所となります。

3 利用方法

参加申込手続き時に「交通手段」について、「04 シャトルバス」を選択した上で、往路、帰路についてそれぞれ、乗車時刻を選択してください。

4 その他

- （1）シャトルバスの利用は無料です。
- （2）シャトルバス運行時間帯以外の移動は、路線バス等を利用してください。
- （3）シャトルバス利用の申込み状況により運行時間等を変更する場合は、平成27年2月2日（月）までに、岩手県立総合教育センターWebページ内でお知らせします。

【別添4】 弁当の斡旋について

- ・大会運営の簡素化のために、**昼食は、各自で準備するようお願いしています。**
- ・やむを得ず希望する場合、弁当の斡旋は、岩手教育情報交流ネット（インターネット）による申込み手続きのみに対応させていただきます。
- ・花巻温泉弁当は1,000円（12、13日両日とも）、明窓館弁当は600円（13日のみ）です。 *飲み物付き

1 申込み方法

- (1) 弁当を希望される方は、別添[様式1 申込み書]に記入して手続きを行ってください。
- (2) 申込み受付期間
平成26年12月5日（金）～平成27年1月30日（金）
- (3) 来賓・招待者等の弁当の申込みは、各所属の事務連絡担当者が手続きするようお願いいたします。

2 弁当引換書の事前発行について

- (1) 弁当を申込まれた方には、「弁当引換書」が、岩手教育情報交流ネットから電子メールで自動返信されます。
- (2) 「弁当引換書」が届かない場合は、何らかの理由により、弁当の申込みが完了していませんので、必ず、**事務局（0198-27-2833 菅原）**に問い合わせてください。
- (3) 「弁当引換書」は、印刷して発表会当日、必ず持参してください。

3 弁当の受取りと代金の支払いについて

- (1) 発表会会場で「弁当引換書」に代金を添えて弁当と交換してください。
- (2) 花巻温泉の弁当は花巻温泉会場のみ、明窓館の弁当はセンター会場のみでの支払・受取となりますので注意してください。

4 キャンセルについて

- (1) 弁当のキャンセルは2月2日（月）までに、事務局（0198-27-2833 菅原）へご連絡ください。
- (2) 2月2日（月）以降にキャンセルした場合は、キャンセル料（実費）が発生します。